



2008年3月期 第1四半期決算 説明資料

< 平成20年3月期 第1四半期 >

Operating results for the three months period 30th June, 2007

株式会社 CSKホールディングス

CSK HOLDINGS CORPORATION

for sustainability

目次 Contents

	Page
連結 業績サマリー Consolidated summary	2
連結 販売管理費・営業外損益の内訳 Consolidated sales & administration costs and non-operating income/expenses	3
連結 特別損益の内訳 Consolidated extraordinary gains & losses	4
連結 セグメント別業績 Consolidated operating results by segments	5
連結 情報サービス事業の業績 Consolidated operating results of information services	6
連結 金融サービス系事業分野の業績 Consolidated operating results of financial services, securities services and prepaid card sales	7
連結 貸借対照表 Consolidated balance sheets	9
連結 キャッシュ・フロー Consolidated cash flows	10
連結 通期業績予想 Consolidated earnings forecast for March, 2008	11

<CSKグループのロゴマークについて Logotype of CSK Group >

CSKグループは、平成17年10月1日、㈱CSKホールディングスを持株会社とする新たな経営体制へ移行し、これに伴い、CSKグループを表象するロゴマークを設定したものです。

ロゴマークは、「CSK GROUP」のロゴタイプと、カーブ状にデザイン化した「C」(CSKの頭文字)をスクランブルに配置した組合せにより構成されています。

内側(CSK GROUP)から外側(社会全体)に向かって放射されるパワーとダイナミズムを表現したデザインは、同時に「未来に向けた永続的な成長性」のシンボルでもあります。

このロゴに込められた「躍動感と連携」、「自由な創造性」はいずれも「総合的なサービスプロバイダー」を目指すCSK GROUPの企業イメージを表象するものです。

CSK GROUP established its new logotype when its group management was reorganized under the control of its holding company CSK HOLDINGS CORPORATION on 1st October, 2005 with the vision of comprehensive service provider.

This new logotype consists of nameplate CSK GROUP and surrounding two “C”, initial letter of CSK.

The design expresses power and dynamism which radiate from inside (CSK GROUP) toward outside (the whole society) and is a symbol of permanent development for the future.

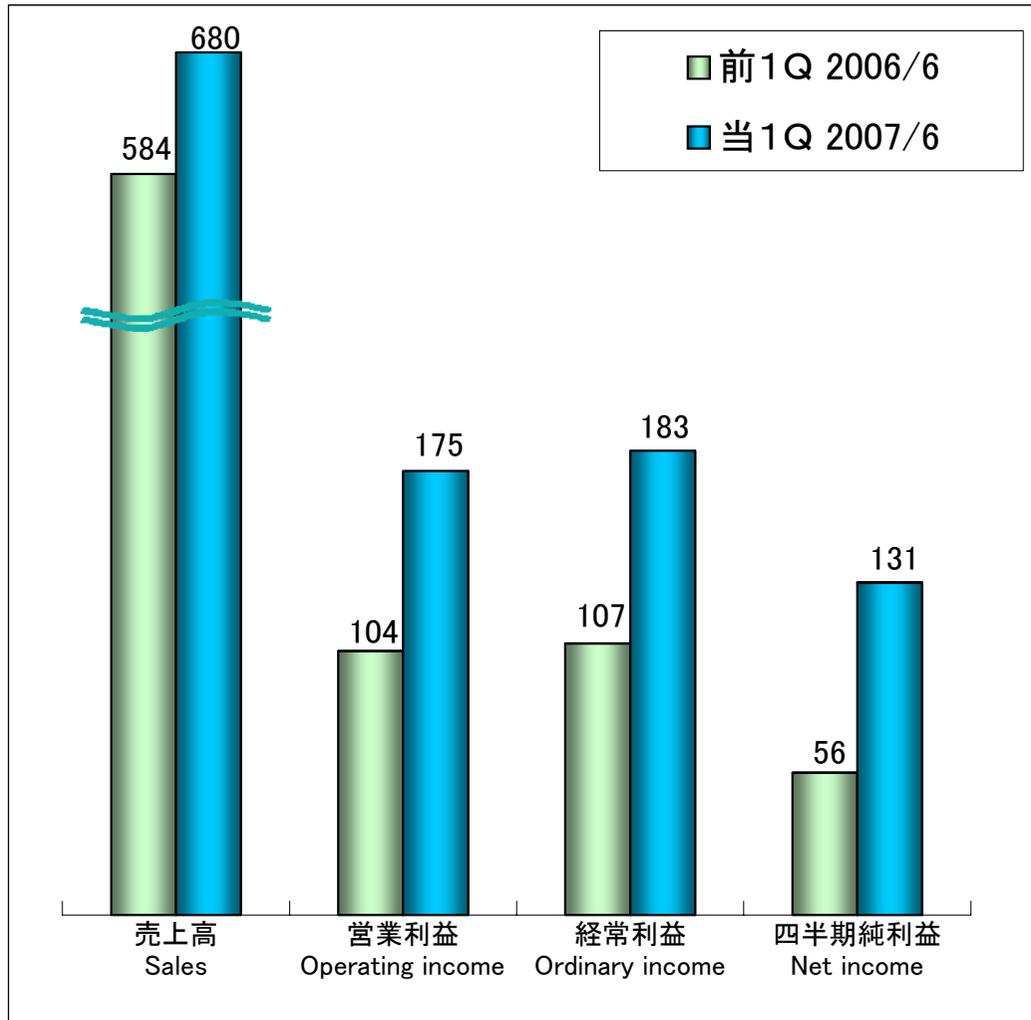
The logotype also implies the corporate culture of CSK GROUP, such as pulse, collaboration and creativity.

<免責事項 Disclaimer>

本資料は、当社グループの業績及びグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようにお願い致します。

This material is intended to provide information about the business performance and strategy of the CSK Group. It is not intended and should not be construed as an inducement to purchase or sell stock in CSK HOLDINGS CORPORATION (CSK) or CSK Group companies. Statements in this presentation and at the explanatory meeting that are not historical fact are forward-looking statements, based on the current beliefs, estimates and expectations of management. As these beliefs, estimates and expectations are subject to a number of risks, uncertainties, and assumptions, actual results may be materially different. CSK undertakes no obligation to update any forward-looking statements, and shall in no event be liable for any damages arising out of the use or interpretation of this material. Please refrain from copying, disseminating or distributing this material without the prior consent of CSK.

連結業績サマリー Consolidated summary



(単位: 億円/100millions of yen)

	前1Q 2006/6	当1Q 2007/6	前年同期比 Variance
売上高 Sales	584	680	96 16.4%
営業利益 Operating income	104 17.9%	175 25.8%	71 68.0%
経常利益 Ordinary income	107 18.4%	183 27.0%	76 71.0%
四半期純利益 Net income	56 9.6%	131 19.4%	75 134.2%

1株当たり利益 Earnings per share	円 76.35	円 178.29	円 101.94
-------------------------------	------------	-------------	-------------

<前年同期との比較サマリー>

売上高 : 前年同期比、16.4%の増収

- 売上高は、情報サービス事業におけるシステム開発、BPO、検証、金融サービス事業の投資案件の回収が好調に推移。
- また、金融サービス事業は、匿名組合への投資案件の精算や証券事業も好調に推移し、これらの結果、売上高は、680億円(前年同期比 16.4%増)。

営業利益 : 前年同期比、68.0%の増益

- 増収要因に加え、情報サービス事業における戦略的受注活動による生産性向上、金融サービス事業の貢献により、営業利益全体で175億円(同 68.0%増)。

経常利益 : 前年同期比、71.0%の増益

- 営業利益の増収要因に加え、営業外収益の増加により、183億円(同 71.0%増)。

四半期純利益 : 前年同期比、134.2%の増益

- 経常利益の増収要因に加え、税金更正異議決定にかかる法人税等の還付額の計上により、131億円(同 134.2%増)。

連結 販売管理費・営業外損益の内訳

Consolidated sales & administration costs and non-operating income/expenses

(単位: 億円/100millions of yen)

販売管理費	前1Q 2006/6	当1Q 2007/6	前年同期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 Reason or explanation of account
人件費	68.7	78.5	9.7	営業強化、スタッフ増員、役員報酬、サステナビリティ実現のための研究活動 等
業務委託料	13.9	21.4	7.5	コスモ証券での業務拡充に伴う委託費増加 等
減価償却費	4.5	5.5	1.0	CSKホールディングス・コスモ証券での設備増加
家賃	12.0	12.8	0.7	営業拠点の拡大、単価の上昇 等
その他	44.3	43.5	△0.8	その他の主な内容: 支払手数料、消耗品費、保守料 等
販売管理費 計	143.6	161.8	18.2	

<営業外損益>

営業外収益	前1Q 2006/6	当1Q 2007/6	前年同期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 Reason or explanation of account
受取利息	0.3	1.2	0.9	現預金増加に伴い受取利息も増加
受取配当金	2.0	2.4	0.4	保有有価証券に係る配当金が増加
カード退蔵益	2.0	3.2	1.1	プリペイドカードの未使用見込分が増加
法人税等還付加算金	—	1.4	1.4	税金更正異議決定に係る法人税等の還付加算金
その他	1.4	1.5	0.0	その他の主な内容: 家賃収入、消費税等還付加算金 等
営業外収益 計	5.8	9.9	4.0	
営業外費用	前1Q 2006/6	当1Q 2007/6	前年同期比 Variance	
支払利息	0.0	0.3	0.2	社債利息の増加
退職給付引当金繰入額	0.6	0.6	—	会計基準変更時差異の償却額
証券代行手数料	0.4	0.2	△0.1	信託銀行への株式事務委託費用
転籍調整費用	0.5	0.4	△0.1	転籍に伴う給与調整額
その他	1.4	0.4	△1.0	その他の主な内容: 保険損失 等
営業外費用 計	3.1	2.1	△1.0	
営業外損益 Net	2.6	7.7	5.0	

連結 特別損益の内訳

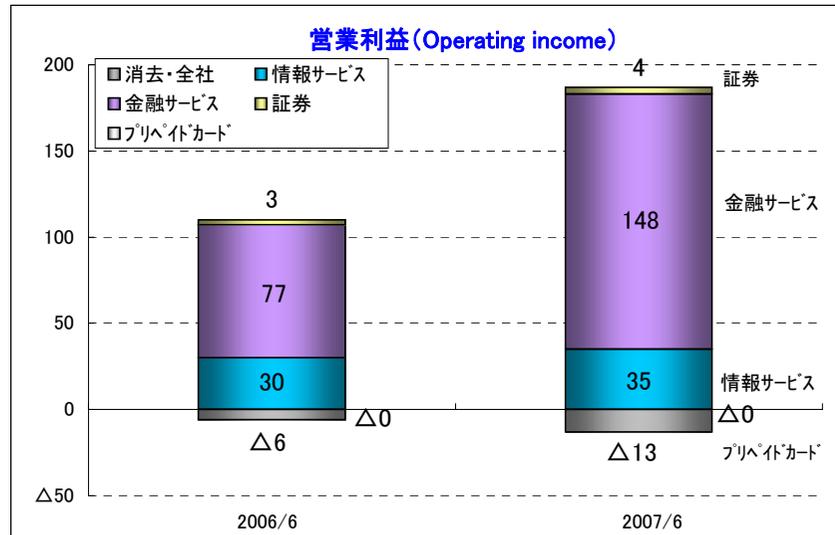
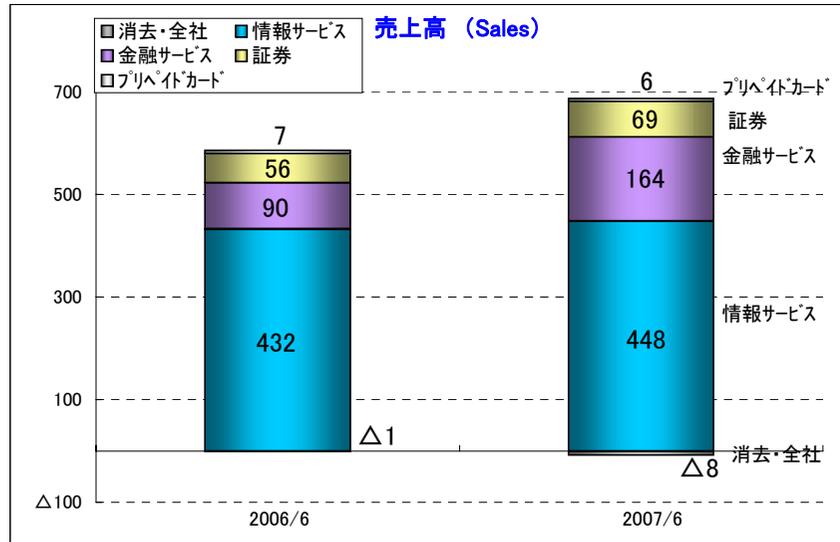
Consolidated extraordinary gains & losses

(単位: 億円/100millions of yen)

< 特別損益 >

特別利益	前1Q 2006/6	当1Q 2007/6	前年同期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 Reason or explanation of account
固定資産売却益	—	0.0	0.0	—
投資有価証券売却益	0.5	—	△0.5	前1Q:グループ会社における投資有価証券の売却によるもの
貸倒引当金戻入益	0.6	—	△0.6	前1Q:貸倒設定債権のうち、回収ができたものに係る利益
事業譲渡益	2.7	—	△2.7	前1Q:グループ会社における事業譲渡に係る利益
償却済債権取立益	—	0.0	0.0	譲受債権の回収額
その他	0.4	0.0	△0.4	—
特別利益 計	4.4	0.0	△4.3	
特別損失	前1Q 2006/6	当1Q 2007/6	前年同期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 Reason or explanation of account
固定資産売却損	—	0.3	0.3	土地売却によるもの
固定資産除却損	0.2	0.4	0.2	事業用資産の除却
減損損失	—	1.8	1.8	データベース・ソフトウェアの減損
投資有価証券評価損	0.2	—	△0.2	—
事業所移転損失	0.1	—	△0.1	—
証券業に係る特別法上の準備金	0.6	0.6	0.0	証券取引責任準備金及び金融先物取引責任準備金の繰入額
その他	0.0	0.0	0.0	—
特別損失 計	1.3	3.4	2.0	
特別損益 Net	3.0	△3.3	△6.3	

連結 セグメント別業績 Consolidated operating result by segments



(単位: 億円/100millions of yen)

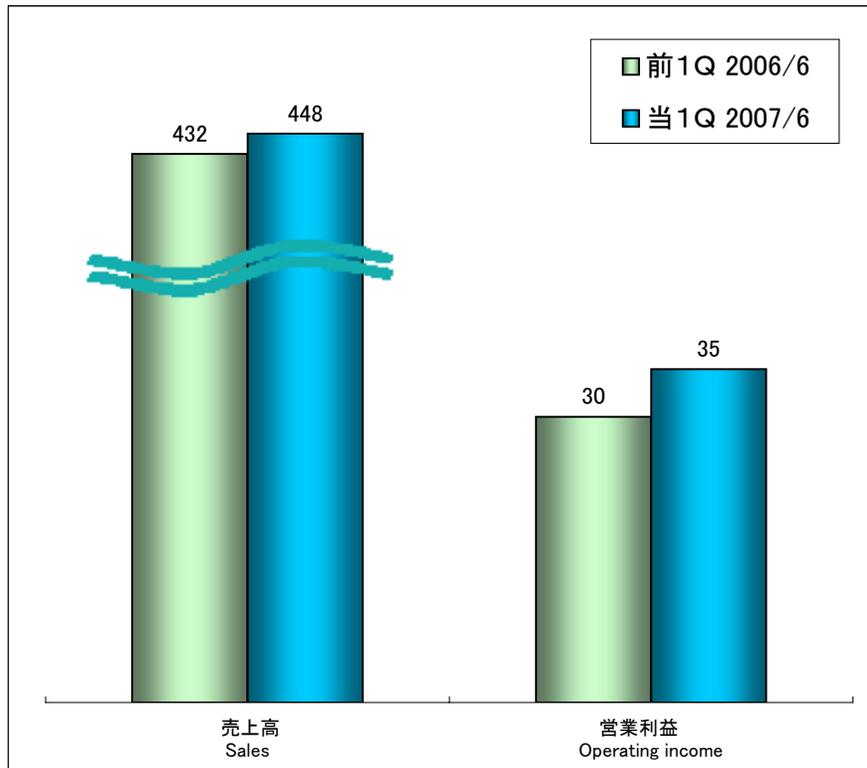
セグメント別業績 Operating result by segment

	前1Q 2006/6	当1Q 2007/6	前年同期比 Variance
情報サービス Information services			
売上高 Sales	432	448	16
営業利益 Operating income	30	35	4
金融サービス Financial services			
売上高 Sales	90	164	74
営業利益 Operating income	77	148	70
証券 Securities services			
売上高 Sales	56	69	12
営業利益 Operating income	3	4	1
プリペイドカード Prepaid card sales			
売上高 Sales	7	6	△0
営業利益 Operating income	△0	△0	0
消去及び全社 Elimination & Corporate			
売上高 Sales	△1	△8	△6
営業利益 Operating income	△6	△13	△6
合計 Total			
売上高 Sales	584	680	96
営業利益 Operating income	104	175	71

各セグメント別の主な会社一覧

情報サービス Information services
<テクノロジーサービス>
株式会社CSKシステムズ、株式会社CSKネットワークシステムズ、CSKフィールドサービス株式会社、株式会社ジー・アイ・イー・シー、株式会社福岡CSK、株式会社北海道CSK、株式会社CSK Winテクノロジー、株式会社CSK Winテクノロジー、株式会社CSKソリューションズ、株式会社CSKシステムマネジメント、CSKシステムズ西日本設立準備株式会社、CSKシステムズ中部設立準備株式会社
<ビジネスサービス>
株式会社サービスウェア・コーポレーション、株式会社CSKコミュニケーションズ、株式会社福井CSK、株式会社島根CSK、株式会社岩手CSK、株式会社大分CSK、株式会社CSKマーケティング、株式会社ハリサップ、株式会社ビジネスエクステンション株式会社、株式会社CSK証券サービス、株式会社ISAO、株式会社ライトワークス、株式会社CSKアドミニストレーションサービス、株式会社CSKプレジデント
金融サービス Financial services
CSKファイナンス株式会社、CSKベンチャーキャピタル株式会社、CSKプリンシパルズ株式会社、プラザアセットマネジメント株式会社、CSKグループ投資案件管理ファンド投資事業組合、CSK-VCサステナビリティファンド投資事業組合、匿名組合29組合
証券 Securities services
コスモ証券株式会社、CSK-RB証券株式会社
プリペイドカード Prepaid card sales
株式会社クオカード
消去及び全社 Elimination & Corporate
株式会社CSKホールディングス、株式会社CSK-IS

連結 情報サービス事業の業績 Consolidated operating results of information services



(単位: 億円/100millions of yen)

		前1Q 2006/6	当1Q 2007/6	前年同期比 Variance	
CSK-SYS ^{※1}	売上高	237	240	3	
	営業利益	13	20	7	
JIEC	売上高	31	33	2	
	営業利益	1	3	1	
SWC(連結)	売上高	49	50	0	
	営業利益	4	4	0	
CCO(連結)	売上高	14	15	1	
	営業利益	0	1	0	
VERI	売上高	14	21	7	
	営業利益	1	3	1	
CSK-SS ^{※1}	売上高	37	30	△7	
	営業利益	8	4	△4	
CSK-NET	売上高	21	18	△2	
	営業利益	1	0	△0	
その他、連結消去 ^{※2}	売上高	26	37	10	
	営業利益	△0	△2	△2	
情報サービス事業 Information services		売上高	432	448	16
		営業利益	30	35	4
		営業利益率	7.2%	8.0%	0.8%

※1 前1QのCSK-SYSは比較有用性を考慮し、2007/1/1付で事業移管した証券向け事業相当部分をCSK-SSへ組替。

※2 その他の会社業績と連結消去の合算値を記載。

<情報サービス事業の市場環境>

- 金融:** IT投資需要は引き続き拡大。
 (銀行): システム統合や再構築案件により拡大傾向。
 (生損保): 基幹システム再構築、アンダーライティング強化、新商品の開発などの分野においてIT投資需要が増加。
- 通信:** ナンバーポータルへの投資は一巡するも、新規参入などの競争激化もあり、IT投資は堅調。次世代通信網などの次の投資テーマに向け拡大見込み。
- 製造 他:** 調達・生産・販売に関するSCMやグループを統合するシステムへの投資が増加。グローバルSCMも引き続きテーマ。

<当社グループの情報サービス事業の状況>

売上高: 前年同期比 3.8%の増収

テクノロジーサービス: 金融業界、輸送用機器業界向けのシステム開発が増加。
 ビジネスサービス: 家電・ITなどの製造業向けコンタクトセンターBPOが拡大。携帯電話・デジタル家電向けの検証サービスが順調に推移。
 売上高全体では、16億円の増収(前年同期比 +3.8%)。

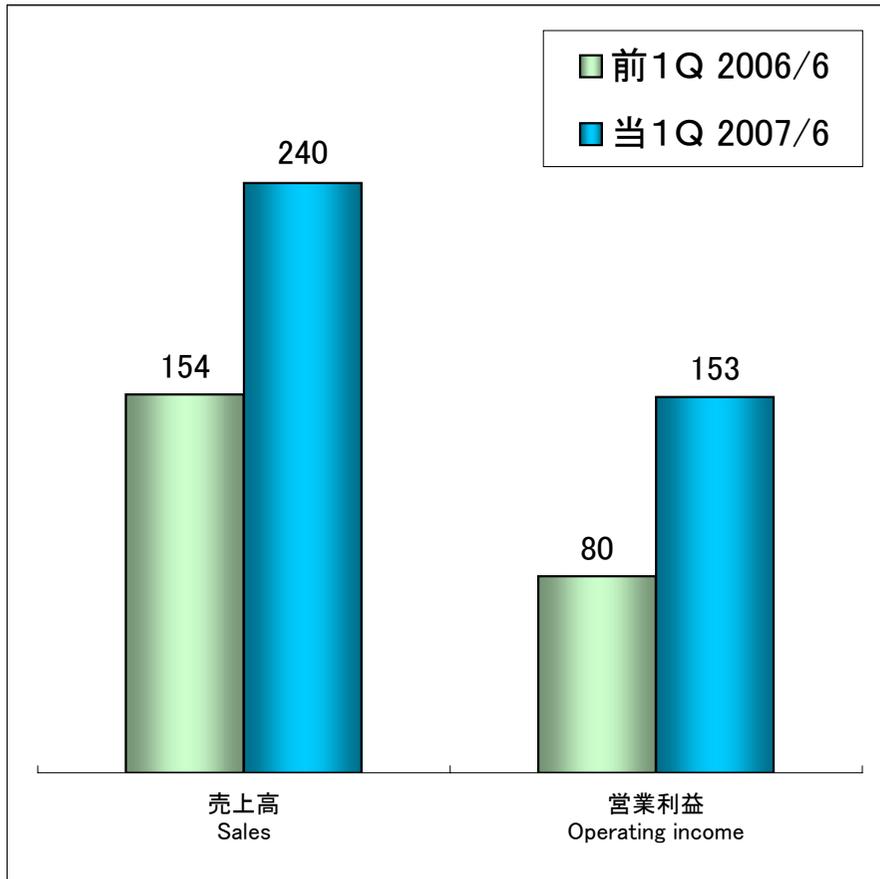
営業利益: 前年同期比 15.7%の増益

増収に加え、テクノロジーサービスにおける戦略的受注活動による生産性向上、および契約条件などの改善により、4億円の増益(同 +15.7%)。
 営業利益率は、7.2% → 8.0%に改善。

連結 金融サービス系事業分野の業績(1)

Consolidated operating results of financial services, securities services and prepaid card sales

※金融サービス系事業分野 = 金融サービス事業、証券事業、プリペイドカード事業の3つを合わせた分野の総称



(単位: 億円/100millions of yen)

		前1Q 2006/6	当1Q 2007/6	前年同期比 Variance	
金融サービス事業 Financial services	売上高	90	164	74	
	営業利益	77	148	70	
証券事業 Securities services	売上高	56	69	12	
	営業利益	3	4	1	
プリペイドカード事業 Prepaid card sales	売上高	7	6	△0	
	営業利益	△0	△0	0	
金融サービス系事業分野		売上高	154	240	86
		営業利益	80	153	72

<金融サービス系事業分野の概況>

- ①金融サービス事業 : 経済環境の改善と並行して、投資環境は、引き続き好調。都市部を中心に不動産価格の上昇傾向がみられ、活況に推移。
- ②証券事業 : 株式市場は、円安による輸出関連企業の業績拡大などを背景に、一般的に上昇基調で推移。投資信託や外国債券の販売が好調に推移。
- ③プリペイドカード事業 : 企業における販促ツールとしての利用やギフト市場の拡大が見込まれること及び景況感の向上にともない、利用料の拡大が見込まれる。

<業績>

売上高 : 前年同期比 56.1%の増収

- 金融サービス事業では、不動産関連の投資案件の精算が好調に推移。
- 証券事業は、投資信託にかかる取扱手数料、トレーディング収益が拡大。

営業利益 : 前年同期比 90.7%の増益

- 金融サービス事業は、不動産関連の投資案件の精算が好調に推移し、大きく増益。
- 証券事業は、投信・外債が好調に推移し、増益。
- プリペイドカード事業は、収益性の高いギフトへのシフト、先行投資費用の減少等で改善。

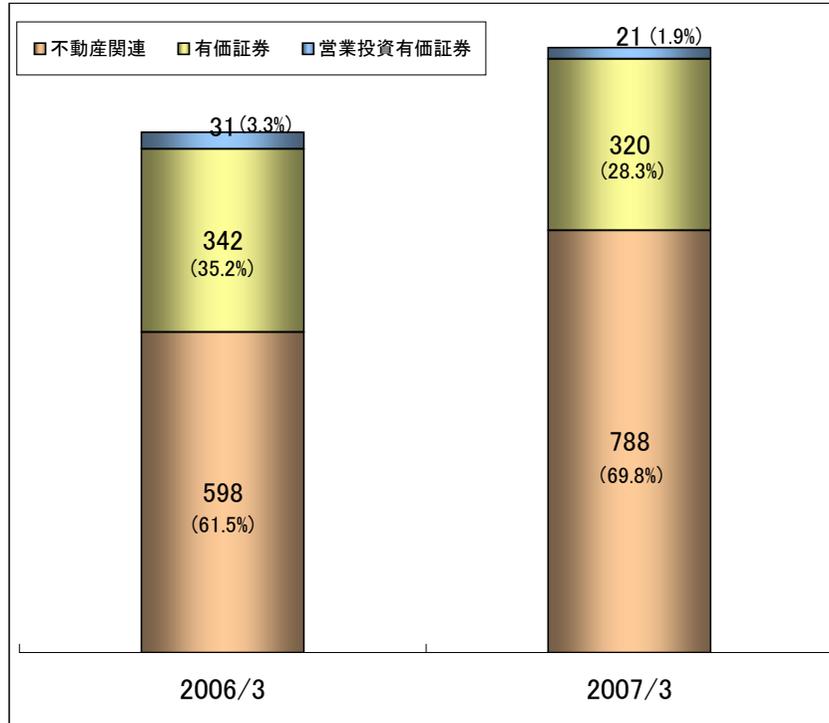
連結 金融サービス系事業分野の業績(2) Consolidated operating results of financial services, securities service and prepaid card sales

金融サービス事業の投資残高と業績推移

Balance of investment and performance in financial service segments

(単位: 億円/100millions of yen)

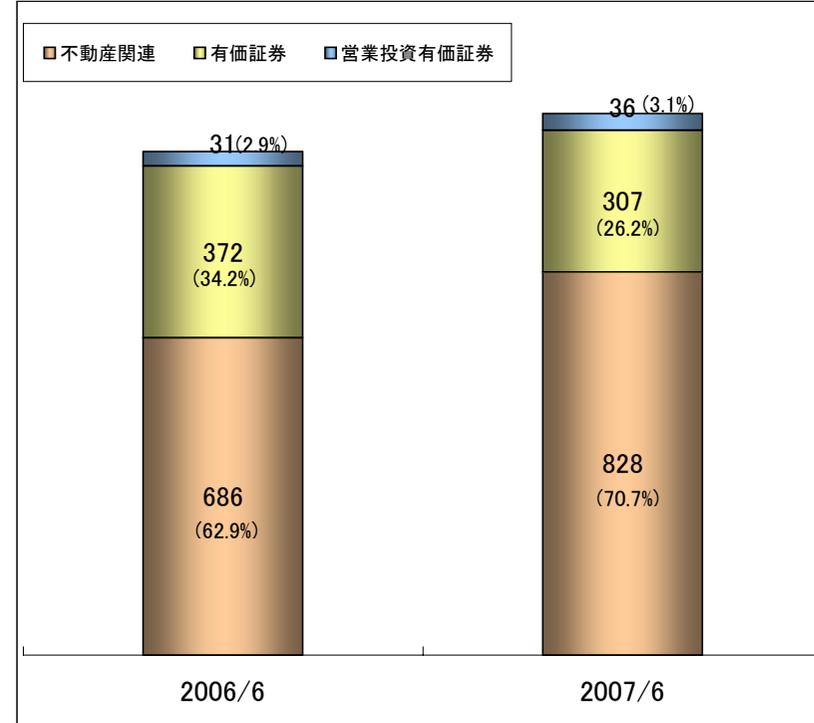
通期 Full year



※ () 内は構成比

	2006/3	2007/3	前期比 Variance
金融サービス 運用資産 (A)	941	1,108	167
営業投資 有価証券(B)	31	21	△10
資産合計 (C=A+B)	972	1,129	156
金融サービス 負債 (D)	-	151	151
資産・負債純額 (E=C-D)	972	978	5
売上高	151	250	98
営業利益	106	158	51

第1四半期 1st quarter



	2006/6	2007/6	前年同期比 Variance
金融サービス 運用資産 (A)	1,059	1,135	76
営業投資 有価証券(B)	31	36	4
資産合計 (C=A+B)	1,091	1,172	80
金融サービス 負債 (D)	-	152	152
資産・負債純額 (E=C-D)	1,091	1,020	△71
売上高	90	164	74
営業利益	77	148	70

連結 貸借対照表 Consolidated balance sheets

		前期末 2007/3	当1Q末 2007/6	前期末比 Variance			前期末 2007/3	当1Q末 2007/6	前期末比 Variance
流動資産 Current assets	現預金	1,084	1,009	△74	流動負債 Current liabilities	有利子負債(短期)	510	562	51
	売掛金	336	245	△91		カード預り金	428	433	5
	金融サービス資産 及び 営業投資有価証券	1,129	1,172	42		金融サービス負債	151	152	0
	証券関連資産	1,531	1,573	41		証券関連負債	1,210	1,167	△43
	その他	537	529	△7		その他	499	392	△107
		4,620	4,529	△90		2,800	2,707	△92	
固定資産 Fixed assets	有形固定資産	269	309	40	流動負債 Current liabilities	有利子負債(長期)	830	830	—
	無形固定資産	140	155	14		その他※	54	43	△11
	投資その他の資産	742	743	0	固定負債 Fixed liabilities	884	873	△11	
	投資有価証券	600	596	△3	負債合計 Total liabilities	3,685	3,581	△104	
	前払年金費用	33	33	0	株主資本	1,752	1,832	79	
	繰延税金資産	19	22	2	評価差額等	89	81	△8	
	その他	89	91	1	少数株主持分	245	242	△3	
		1,152	1,207	55	純資産合計 Total net assets	2,087	2,156	68	
資産合計 Total assets		5,772	5,737	△35	負債純資産合計 Total liabilities and net assets	5,772	5,737	△35	

信用取引負債 △69億円
 トレーディング商品 △21億円
 預り金・受入保証金 +48億円

短期借入金 +51億円

(単位: 億円/100millions of yen)

トレーディング商品 +40億円 他

新規投資が増加

事務所設備、
CSK多摩センター
の設備取得 他

証券システム(ソフト
ウェア)の増加 他

自己資本比率 31.9% 33.4% 1.5%

※ 固定負債のその他には、証券事業にかかる特別法上の準備金を含む。
 Statutory reserves in securities service are included.

未払法人税等 △49億円
 賞与引当金 △33億円 他

連結 キャッシュ・フロー Consolidated cash flows

(単位: 億円/100millions of yen)

	前1Q 2006/6	当1Q 2007/6	前年同期比 Variance
営業キャッシュ・フロー Operating cash flows	△138	28	167
投資キャッシュ・フロー Investing cash flows	△39	△107	△67
財務キャッシュ・フロー Financial cash flows	62	△5	△67
キャッシュ・フロー計* Total cash flows *	△116	△83	32
現預金残高 Cash & cash equivalents, at end	631	971	339

*: 換算差額含む。 Including effect of exchange rate change.

・税金等調整前四半期純利益の増加
・投資回収による金融サービス運用資産の増加額の減少
・法人税等の支払額の減少、他

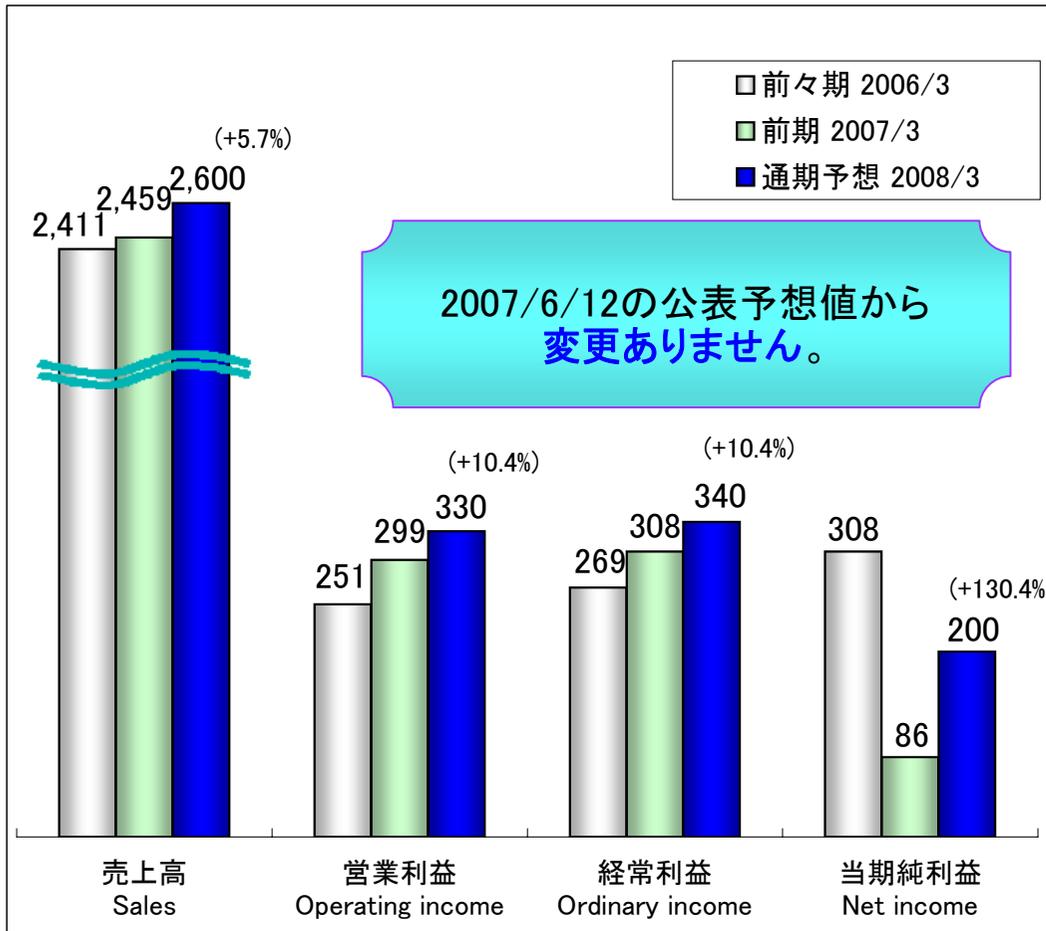
・事務所設備、CSK多摩センターの設備取得
・証券システム(ソフトウェア)の増加、他

・自己株式の取得
・短期借入の減少、他

連結 通期業績予想

Consolidated earnings forecast for March, 2008

(単位: 億円/100millions of yen)



	前々期 2006/3	前期 2007/3	通期予想 2008/3 Forecast	前期比 Variance
売上高 Sales	2,411	2,459	2,600	140 5.7%
営業利益 Operating income	251 10.4%	299 12.2%	330 12.7%	30 10.4%
経常利益 Ordinary income	269 11.2%	308 12.5%	340 13.1%	31 10.4%
当期純利益 Net income	308 12.8%	86 3.5%	200 7.7%	113 130.4%

1株当たり利益 Earnings per Share	円	円	円	円
	410.52	117.35	272.19	154.84

<2008/3期 連結通期業績予想について>

- 売上高
システム開発を中心としたテクノロジーサービス、BPOやASPを中心としたビジネスサービスの双方とも、好調に推移する見通し。
- 営業利益及び経常利益
テクノロジーサービスでの収益性の向上が業績に寄与し、ビジネスサービスの新会社の立ち上げ費用、先行費用を吸収し情報サービス事業全体で大きく増益になる見通し。金融サービス系も引き続き安定的に利益貢献。
- 当期純利益
経常利益までの増益要因に加え、2007/3期に国税更正処分にかかる過年度法人税等62億円があったこと等により130.4%の大幅増益となる見通し。